

希学園 第404回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年1月11日実施)	https://vimeo.com/1153112434/487b37fd01

1

①

一戸

②

明ける

③

石頭

④

口絵

⑤

白昼

2

1

鉛筆

2

A

エ

B

イ

3

I

イギリス

II

質のいい黒鉛

4

黒鉛
、
焼く

5

I

1

II

2

III

2

【完答】

3

1

①

エ

④

イ

2

I

人形を抱いた少女

II

戦争

3

エ

4

ウ

5

エンジン
、
エル

6

ひとみ

7

3

配点

1

各2点×5＝10点

2～3

各5点×18＝90点

<計>100点

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「戸」を「こ」と読む熟語は他にも「戸外」や「戸数」「戸主」などがある。「と」という読み方だけではないので覚えておこう。②「明」には「あ(ける)」の他に「あか(るい)」「あき(らか)」という訓読みや、「メイ」「ミヨウ」という音読みがある。③「石」の二画目が一画目より上へつき出ないよう気をつけよう。「トメ」「ハネ」「ハライ」だけでなく、「つき出す」「つき出さない」まででいねいに覚えること。④「口絵」とは書籍や雑誌の巻頭(はじめ)に入れた絵や写真、イラストのことである。⑤「昼」の部首は「尸(しかばね)」ではない。昼は太陽が出ている時間帯なので、太陽のイメージの「日(ひ・にち)」となる。

② ヨシムラマリ著 高畑正幸監修 『ざんねん? びっくり! 文房具のひみつ事典』

1 ①のあとで「フランス産の黒鉛芯」が作られるようになった背景が説明されていて、その黒鉛芯は何に使うのかと考えて本文をたどると、「この芯の作り方は、今の鉛筆でもほとんど変わっていません」とあるので、「鉛筆」の話であったとわかる。
2 A (A)の前では「黒鉛のかたまり」を「筆記用具にしてい」たとあり、(A)のあとでは「質のいい黒鉛はイギリスのボローデル地方でしかとれ」ない(「簡単には筆記用具にできない」と書いてあることから、意外なつながり、反対のつながりになっているとわかるので「しかし」がはいる。

B (B)の前で「ナポレオン」が「カルノー」に「ムチャぶり」をしたが、「カルノー」は自分ではどうすることもできず、「コンテ」を頼ったという流れであった。自然なつながりになっているので「そこで」がはいる。

※「また」は複数の事がらをならべるとき、「たとえば」はうしろに具体例を述べるときに用いる接続語である。

3 フランスが自分の国で「黒鉛芯」を作らなくてはならなくなった理由はなにかと考えて本文をたどると、「イギリスとフランスの間」で起こった「戦争」だと見当をつけられる。本文には「戦争」の影響でフランスに「黒鉛が入ってこなくな」るとあり、どのような「黒鉛」かと考えてさらに本文をたどると二行目に「質のいい黒鉛」とあるため、Iには「イギリス」、IIには「質のいい黒鉛」がはいるとわかる。

4 コンテはどうかやっで(どのような方法で) フランス産の黒鉛芯を作り出したのかと考えて本文をたどると、第三段落に「(コンテは)黒鉛の…焼く方法(を)思いつきました」とあるので、ここが答えになりそうだとわかる。あとは「作り方」へのつながりがよく、字数指定に合うようにぬき出そう。数え間違いを起こさないためにも、五文字ごとに区切るなど工夫してみてもよいだろう。

5 I 本文うしろから二行目に「黒鉛と粘土の割合を変えて、いろんな濃さの芯を作れます」とあるので、正しい。

II ナポレオンが国産の黒鉛芯を作るよう命じたのは「カルノー」である。「コンテ」は「カルノー」に頼まれて黒鉛芯の作り方を思いついた人物である。よって正しくない。

III 黒鉛のかたまりをめぐって戦争が起こったのではなく、戦争が起こった結果としてフランスに黒鉛が入ってこなくなったのである。よって正しくない。

③ 小手鞠るい 『マイ・ディア・フレンド』 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 比ゆの問題は、その場面をきちんとイメージすることが大切である。「すずやかな、①『みたいな声』とあるので、「すずしい感じ」で「音の出るもの」というイメージができるだろう。よって答えは「風鈴」となる。次に「ぼつん」と、空から落ちてきた④『みたいなことば』とあるので、「ぼつん」と「落ちてくる」というイメージができるだろう。よって答えは「雨つぶ」となる。「落ち葉」も落ちてくるものだが、「ぼつん」ということばに合わないので不適当である。

2 章子さんは、タイトルから予想した内容と実際の本の内容がちがっていたため「おどろいたような表情」になったのである。読む前は「女の子のお話なんだね」と言っていたが、少し読んだあと「これって、戦争のお話?」と言っている。IIは二字なので「戦争」で決まるが、Iは八字で「女の子」のイメージである。どんな女の子かと考えて本文をたどると「人形を抱いた少女」ということばが見つかるだろう。

3 ③の前に「(章子さんの質問に対して)どう答えたらいいのか、わからなくて」という若葉の困っている様子がえがかれているので「E『もじもじ』」が適当である。

4 ⑤の直後で「さびしいの? どうして?」と章子さんが疑問をもっていることから、若葉の返事が意外なものだったためおどろいたということが読み取れる。

5 ⑥のうしろに「ぼくの、だいな、だいな、マイ・ディア・フレンドが死んでしまった」とあるので、ぼくにとつてだいな存在で、死んでしまったのはなにかと考えて本文をたどると、若葉が飼っていた犬の「エンジェル」であることがわかる。
6 「さびしいの? どうして?」や「あのね、あのね:死んでしまったから」にかぎかつこがつけられていないのは、実際に声に出されていないからである。では、声に出されていないのにどうやってことばのやりとりをしているのかと考えつつ本文をたどると「章子さんのひとみは、ぼくに、そう問いかけているようだった」とあるので、「ひとみ」がはいるとわかる。

7 「この子は、とても強い子ね」とあり、「この子」は「女の子」のことであるとわかるので、章子さんが『マイ・ディア・フレンド』の本を少し読んだあとにこのことばを言ったと見当をつけられる。また、【3】の直前に「章子さんは、とちゅうで顔をあげて、こう言った」とあることから、ここにいれるのが適当であるとわかる。

以上